

新型コロナウイルス感染症 療養後も続く症状について (いわゆる後遺症)

新型コロナウイルス感染症は感染時の症状の有無や年代に関わらず、回復した後にも、後遺症として様々な症状がみられる場合があります。

だるさ



「だるい」「疲れやすい」といった軽い症状から、「体が鉛のように重く感じられる」といった強い症状まで様々な症例があります。

息苦しさ



呼吸困難などの呼吸器症状が持続し、中には息苦しさで日常生活に支障をきたす場合もあります。

味覚・嗅覚障害



「味がわからない」「においがわからない」といった症状が、療養後も続く場合があります。

せき



激しいせきが療養後も続く場合があります。

発熱



一般的な発熱や、長期間にわたる「微熱」が続く場合があります。

抜け毛



感染期間中に抜け毛が現れ、療養が終了した後も継続する場合があります。

回復後も症状が続く場合・・・

新型コロナウイルス感染症の後遺症は、重症化する恐れもあります。悪化を予防するため、激しい運動や無理な活動は避けてください。